

公共工事等における新技術活用システム
事後評価結果通知書

国部整施企第 74-10 号

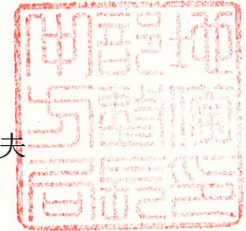
平成 27 年 1 2 月 2 4 日

株式会社 宮防

代表取締役社長 村社 勝 殿

国土交通省

中部地方整備局長 茅野 牧夫



平成 24 年 6 月 1 日付をもって申請のありました技術について、新技術活用評価
会議における評価の結果を様式 V-5 のとおり通知します。なお、評価結果については
NETIS に掲載します。

記

1. 技術名称：生コン車温度抑制対策『ファームバリア』プラス
2. NETIS 登録番号：QS・120011・A
3. 評価結果：様式 V-5 のとおり
4. 継続調査等の必要性について：継続調査等を必要としない
5. その他：従来技術を「一般の生コン車」から「鋼製型枠」に変更する。

なお、評価結果については、従来技術を「鋼製型枠」に変更したものである。

この結果に基づき、当該技術の NETIS 登録番号・情報種別記号は「-VE」に変更さ
れ、掲載期限が当初に NETIS 登録した翌年度の 4 月 1 日から起算して 10 年を経過
した日まで延長されます。

また、今後の活用効果調査、事後評価は実施されません

異議申し立てについて

上記について異議がある場合は、事後評価結果を通知した日の翌日から起算して 10 日
以内に整備局長あてに異議理由を明示した書面を提出することにより、異議申し立てを行
うことができます。

(提出先)

国土交通省中部地方整備局
新技術活用評価会議事務局

活用効果評価結果

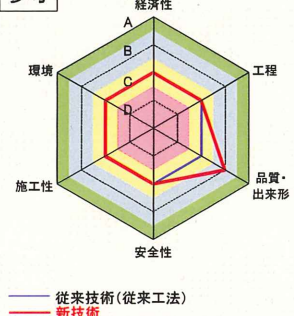
公開版

平成27年度

中部地方整備局 / 新技術活用評価会議

NETIS 情報	開発目標	耐久性の向上、品質の向上																									
	新技術登録番号	QS-120011-A	区分	製品	有用な技術の位置づけ	なし																					
	分類	コンクリート工 - 施工管理 - 施工管理 - 品質管理																									
	新技術名	生コン車温度抑制対策『ファームバリア』プラス																									
	比較する従来技術(従来工法)	一般の生コン車																									
	新技術の概要及び特徴	本技術は、生コン車のドラムを遮熱塗装することにより、輸送中の外気温が生コンクリート温度に影響を与えないようにする暑中コンクリート対策の技術である。また、鋼製型枠に塗装した場合は、生コンクリートの温度上昇を抑制させるため、夏場の生コンクリートの品質安定化が図られる。																									
活用効果評価	所見	【優れていた所】 ・遮熱塗装することにより、生コンクリートの温度上昇が抑制でき、品質・出来形の向上が図られている。 【劣っていた所】 ・該当なし																									
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	活用調査及び活用効果評価を継続する技術としての選定要件にあてはまらないため継続調査は実施しない。 よって、情報種別記号「-VE」とする。			項目の平均(点)と従来技術(従来工法)(点)の比較																						
	留意事項	・従来技術を「一般の生コン車」から「鋼製型枠」に変更する。 なお、評価結果については、従来技術を「鋼製型枠」に変更したものである。 ・暑中コンクリートとなる場合には対策が必要となるため、より効果が大きい。																									
	活用効果調査表における改良点及び要望	・該当なし																									
活用効果調査結果	対象工事	1	護岸工事	(従来技術	一般の鋼製型枠)	施工者希望型(契約後提案)																				
		2	護岸整備工事	(従来技術	一般の鋼製型枠)	施工者希望型(契約後提案)																				
		3	被覆ブロック製作工事	(従来技術	一般の鋼製型枠)	施工者希望型(契約後提案)																				
		4	消波ブロック製作工事	(従来技術	一般の鋼製型枠)	施工者希望型(契約前提案)																				
		5	被覆ブロック製作工事	(従来技術	一般の鋼製型枠)	施工者希望型(契約後提案)																				
		6	消波ブロック製作工事	(従来技術	一般の鋼製型枠)	施工者希望型(契約後提案)																				
		7	遊砂地工事	(従来技術	一般の鋼製型枠)	施工者希望型(契約後提案)																				
		8	堤防工事	(従来技術	一般の鋼製型枠)	施工者希望型(契約後提案)																				
		9	護岸補修工事	(従来技術	一般の鋼製型枠)	施工者希望型(契約後提案)																				
		10	防波堤築造工事	(従来技術	一般の鋼製型枠)	施工者希望型(契約後提案)																				
		11	砂防堰堤除石外工事	(従来技術	一般の鋼製型枠)	施工者希望型(契約後提案)																				
		12	被覆ブロック製作工事	(従来技術	一般の鋼製型枠)	施工者希望型(契約前提案)																				
		13	災害復旧工事	(従来技術	一般の鋼製型枠)	施工者希望型(契約後提案)																				
	14																										
	15																										
	16																										
	17																										
	18																										
	19																										
	20																										
参考	項目	ケース番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)			
		H26	H26	H26	H26	H25	H26	H25	H25	H25	H25	H24	H25														
		経済性	C	B	C	D	B	C	C	C	C	D	C	C	D										C	C	
		工程	C	B	C	D	C	C	B	C	D	C	C	C	C										C	C	
		品質・出来形	B	B	B	B	B	B	C	C	C	A	B	B	B										B	C	
		安全性	B	B	B	C	B	B	C	C	C	C	C	C	C											C	C
		施工性	C	B	B	C	B	B	B	C	C	C	C	C	C											C	C
		環境	C	B	C	C	B	B	B	C	C	A	C	C	C											C	C
		その他																									
		総合評価点	C	B	C	C	B	B	C	C	C	C	C	C	C											C	
今後、当該技術を活用出来る工事に活用した いか	今後是非活用したい		活用を検討したい		場合によっては活用 することもある		技術の改良を強く望む		各項目における判定																		
	—		—		—		—		A 従来技術より極めて優れる B 従来技術より優れる C 従来技術と同等 D 従来技術より劣る																		
追跡調査の必要性	不要																										
追跡調査	—																										

参考



平成27年12月24日

書類送付案内

株式会社宮防
新規事業部 荻原 英範 様

国土交通省 中部地方整備局
企画部 施工企画課 小島 実

TEL 052-953-8180

FAX 052-953-9192

E-mail : kojima-m85ab@cbr.mlit.go.jp

NETIS 新技術情報提供システム

「生コン車温度抑制対策『ファームバリア』プラス(QS-120011-A)」について

いつもお世話になっております。

標記につきまして、事後評価通知書を送付いたします。

なお、NETISホームページへの掲載の際、NETIS番号末記号が「-A」から「-VE」へと変更になります。

今後ともよろしくお願いいたします。

※通知書の内容について異議がある場合は、平成28年1月15日(金)までに電話またはメールで「中部地方整備局 企画部施工企画課 牛場(うしば)又は小島」へご連絡ください。

○問い合わせ先

中部地方整備局 企画部施工企画課

Tel : 052-953-8180

E-mail : ushiba-h85aa@cbr.mlit.go.jp 牛場(うしば)

E-mail : kojima-m85ab@cbr.mlit.go.jp 小島